

ラジオ体操が復活

瀬戸の萩山小 児童、住民らが交流

瀬戸市萩山小学校の児童、地元の人たちと児童たちは夏休みにも毎朝、ラジオ体操



地域の人も交えてラジオ体操をする児童ら＝瀬戸市萩山小で

に励んでいる。さまざまな理由でラジオ体操が行われなくなった地域が多いが、子どもとの交流の場にしようと、地元の萩山台地域力向上委員会の子育てグループが復活させた。グループは子育て世代の母親やお年寄りら十五人ほどで構成し、登下校時の見守りや校内農園の管理などに取組んでいる。

ラジオ体操は、学校が午前九時から開く夏休みの「学習会」に合わせて、同八時四十分ごろから行つ。早朝にできなかったのは、世話をする人に負担がかかる上、早い時間に子どもを一人で行かせるの

が不安という親の意見があったからだ。

期間は今年二十二日から三十一日までの平日で、参加賞や皆勤賞も用意。学習会に参加する児童のほか、中学生や未就学の子ともおり、毎日五十人以上が集まる。

グループの五人前後が交代で見守り、土屋照子さん(モコ)萩山台一は「自分たちも子どもから元気をもらっています」とほほ笑む。同校の加藤中哉教頭は「外国籍の子とも多いので、地域の人

たちがこうした機会を設けてくれるのは大変ありがたい」と話す。

参加している五年生の渡辺史菜さん(こは)は「暑いけど、賞品もあるので頑張る」、吉野光来さん(こは)は「朝の体操は気持ちいい」と話していた。

(中西康)